

# 震災に強い学校をつくる

震災に強い情報通信手段の確保～Net Commons の発案者に聴く～

## ■ 趣旨

3月11日の大震災では、情報が途絶し保護者への児童生徒の引き渡しに苦慮した状況がある。今後は、非常災害時における児童生徒の安否確認等を目的とした、きめ細かな情報伝達手段の確保が喫緊の課題である。

深谷市では、即時性があり管理が容易なCMS型ウェブサイトであるNet Commons（ネットコモンズ）の全校導入を決定した。については、震災に強い学校情報通信手段の確保のため、Net Commons 発案者である新井紀子氏を招聘し、市内全幼稚園・小中学校長向け講演会を開催する。

## ■ 日時

平成23年10月19日（水）

午前11：00～

## ■ 場所

深谷市立教育研究所3階 大会議室（本住町12番8号）

## ■ 概要

- 東日本大震災においては、電話、FAXは不通となった。防災無線は、初動の情報伝達手段としては有効な手段であるが、きめ細かい双方向的な情報伝達手段には不向きである。
- 現在は、震災に強い学校づくりの手だてが求められている。  
これまで教育委員会は、
  - A：「大地震発生に伴う児童生徒の安全確保について」
  - B：「震度4以上の地震発生に係る初動対応について」を通知し、全小・中学校に指示してきた。各学校は、A、Bに基づいて
  - C：「学校危機管理体制」を整備した。
- 今後、非常災害時におけるよりきめ細かい情報伝達が必要な学校ウェブサイトの利用が重要。
- 今回、深谷市では、非常時における児童生徒の安否確認等にも有効なCMS型ウェブサイトであるNet Commonsの全校導入を決定した。
- ついては、震災に強い学校情報基盤づくりに向けてNet Commonsの発案者である新井紀子氏を招聘し、市内全幼稚園・小中学校長向け講演会を開催することにした。

## ■ その他（新井紀子氏 プロフィール）

新井 紀子（あらい のりこ）

国立情報学研究所教授・社会共有知研究センター長。

東京都出身。一橋大学法学部およびイリノイ大学卒業、イリノイ大学大学院数学科修了。博士（理学）。

専門は数理論理学（証明論）・知識共有・協調学習・数学教育。2001年より、教育機関・公共機関向けの情報共有基盤システム NetCommons の開発を開始。2005年より NetCommons をオープンソースとして公開。現在、2000を超える機関でポータルサイトやグループウェアとして活用されている。また、中高校生のためのネット上の学びの場「e-教室」を設計、主宰している。日本数学会教育委員会委員長、日本数学協会幹事を務める。

主な主著

「ハッピーになれる算数」「生き抜くための数学入門」（理論社）、  
「ネット上に学びの場を創る」（岩波書店）、  
「数学は言葉」（東京図書）など。

日本OSS奨励賞受賞。

## ■ 参考

CMS型ウェブページとは、Content Management System（コンテンツ・マネジメント・システム）のことで、WEBサイトを構成する文章や画像、デザインなどの要素を分離して、各々を1つのコンテンツとして管理するしくみのことです。

### 1 誰でも簡単に更新できる

ホームページ上の文字・写真の登録・変更が簡単にできます。ワープロが使える方なら大丈夫です！

### 2 どこからでも更新できる

インターネットが利用できるパソコンであれば、会社や自宅、遠距離の事務所からも更新できます。

### 3 即時に情報を発信できる

内容を修正すると、ホームページがリアルタイムに変更されます。

「必要な時にどこからでも簡単に更新できる」が特徴です！

## ■ 問い合わせ先

深谷市教育委員会学校教育課 松本

TEL 048-572-9578

Email [gakko@city.fukaya.saitama.jp](mailto:gakko@city.fukaya.saitama.jp)